1 島根県松江市（まつえ）

農福連携

社会福祉法人（しゃかいふくしほうじん）　四ツ葉福祉会（よつばふくしかい）　多機能型事業所（たきのうがたじぎょうしょ）　アクティブ'99

～国宝松江城下の伝統野菜　黒田セリ　継承と再興～

鳥よけの鯉のぼり

パン工場のぞみ事業所の黒田セリおやきパン

経　緯

○隣町の黒田町では古くから黒田セリが栽培されており、現在でもいくつかのセリ田が散見されます。「黒田でセリが出来るなら、薦津でも出来る！栽培が安定すれば外部販売に挑戦して利用者の活動を世の中の人々に発信しよう！」という思いがきっかけ。

取組内容

○セリ農家は高齢化・減少傾向にあり、伝統野菜再興の一助となるべくセリ農家と連携。
○収穫したセリを使って、法人内にあるパン工場のぞみ事業所でセリパンの製造。
○福祉会の広報誌への掲載や、全国紙、地元新聞社へ活動を掲載。黒田セリを通じて、利用者の活動を発信するとともに、伝統野菜再興に寄与。

活動の効果

○セリの出荷作業は厳冬期の作業である事、セリの洗浄作業に時間と手間がかかる事から、セリ農家は減少傾向にある。当事業所の利用者・職員が労働力となって、その問題を解決。
○黒田セリの栽培や販売を通して、利用者がその活動に誇りをもつようになっていく。

応募団体からのアピール・メッセージ

今後は更にセリ農家と連携を強化し、助け合いの中でかつての勢いを取り戻したいと考えている。その先には、世の中の人々が障がいを持つ方々の生きていく強さや存在意義を多分に感じられる世界が待っていると信じている。

社会福祉法人　四ツ葉福祉会　多機能型事業所　アクティブ'99　Tel：0852-36-8877

2 島根県浜田市（はまだ）

農林漁業　企業との連携　食育・教育

奨励賞

株式会社（かぶしきかいしゃ）　扇原茶園（せんばらちゃえん）

～「和のツーリズム」によって笑顔を育てる～

茶摘み機の試乗体験の様子

生産者・販売店・消費者との交流会の様子

経　緯

○創業当時より地域の方にもお茶摘みを体験してもらう等、人との交流の中で現在まで栽培を行っている。お茶畑を機軸に、お茶に触れる体験の場を提供しながら様々な人の交流を通じて、また、次世代を担う子供達に農業の現場を通じて、田舎や農業の素晴らしさを伝えたいとの想いから。

取組内容

○農業・農村体験として、幼稚園等の遠足や大学生のゼミ合宿などの受入や「はまだ自然冒険村」を開催。また、取引先の大手飲料メーカーと、顧客向けの体験も行った。
○農泊の取組は休止中だが、NPO法人を立ち上げ、シェアハウスを作り、定住につながる取組を進めている。
○社会貢献の取組として、市内にある官民協働施設の施設外でお茶の栽培の指導・支援を行っている。

活動の効果

○子ども達がお茶畑ではしゃぐ様子を見て私達も元気をもらっている。
○弊社のお茶畑等を活用し、様々な年代の方々にお茶に触れていただくことにより、日本独自の伝統の一つであるお茶の素晴らしさを再認識してもらっている。
○刑務作業であるお茶の栽培を通じ、周囲と協力して物を作る経験を得ることで社会復帰の一助に繋げている。

応募団体からのアピール・メッセージ

お茶の栽培から製造、販売を行いながら、お茶摘みやお茶を使った料理等を一緒に作る体験事業や交流事業も行っています。
地域に根ざした農業を活かし、お茶に触れる体験を通じた人と人の交流が地域活性化の一助になればと思っています。

浜田市　株式会社 扇原茶園　Tel：0855-27-0816

③ 島根県浜田市（はまだ）

農林漁業

株式会社（かぶしきかいしゃ）　藤若農産（ふじわかのうさん）

～田んぼアートを一緒に作ろう！～

生き物観察会後のバーベキュー交流会

地元の小学生が考案し完成したねずみアート

経　緯

○弊社のある島根県と広島県の県境の麓に位置する中山間地域は、少子高齢化が進み、耕作されない水田が目立ってきた。代々大事に受け継がれてきた水田を主役にした「田んぼアート」を開催し、稲作体験を通じて地域内外の人達との交流を楽しむと同時に、水田の大切さを多くの人に伝えたいとの思いから。

取組内容

○「田んぼアート」の田植え・稲刈り・稲こぎ体験の際に、田植え機やコンバインの試乗体験を行う。
○「田んぼアート」の絵柄は、地元の小学が考案。
○7月中旬頃に、田んぼの生き物観察会をJAの方に指導をしていただき実施。
○地域内のお年寄りの協力を得て、しめ縄作り体験会を開催。

活動の効果

○子供から大人まで田んぼアートを介して農業に携わってもらい、より多くの人達に中山間地域の農業の大切さを伝えている。
○自然を満喫し、リフレッシュ出来る場所となりつつある。
○無人草刈り機ロボットの実演見学会を通じ、変わりつつあるスマートな農業の姿を見せ、関心を高めている。

応募団体からのアピール・メッセージ

大人も子供も自然の感触を肌で感じてもらう楽しい農業体験等の提供により、農業の大切さを伝えている。
取組の協力を通じて、地域の人達とのつながりをより強固にしている。

浜田市　株式会社　藤若農産　Fax:0855-44-8016

4 島根県出雲市（いずも）

環境保全・景観保全

教育機関との連携

神門地区農地と水と環境を守る会（かんどちく のうち みず かんきょう）

～桃源の郷を目指して！～

園児をエスコートする中学生

ヒマワリの植栽をする多くの子供たち

経　緯

○農業者の高齢化が進む中、新興住宅が計画的に建設され、農地の減少も進み、農地保全の意識が年々低下していた。
○農地・水・環境保全向上対策事業（現：多面的機能支払交付金）により農地の保全、景観の保全に特化した取り組みを加速させるため、「神門地区農地と水と環境を守る会」を設立。

取組内容

○地域内の保育園、幼稚園、小学校、中学校と連携し、毎回、約300名の子どもたちとひまわりの植栽を実施している。
○耕作放棄地の未然防止として、花桃を植栽している3町内会では、それぞれに「花桃の会」を設置し、補植・管理を行っている。
○2ヵ月に1回、活動通信を発行し、組織の構成団体である66町内会、近隣の町内会へ情報の共有・発信をしている。

活動の効果

○ヒマワリの植栽活動を通し、活動時は中学生が園児の手をとって移動するなど子どもたち同士での思いやりの気持ちが醸成され、開花時は地域住民の癒しの場となっている。
○花桃が、将来、花見スポットとなるよう、継続的な活動となっている。
○活動通信を通じ、町内間の横の情報共有が図られ、地域農業や環境保全へのPRとなっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

植栽などの活動を通し、人を気遣う思いやりにあふれた地域づくりによる「桃源の郷」を目指し、また、新規住民の自治会加入へのきっかけとなるよう活動を継続したい。

島根県農地・水・環境保全協議会　事務局　Tel：0852-32-4141

5 島根県出雲市（いずも）

農林漁業 | 教育機関との連携 | 学生・若者の活躍

久多美（くたみ）ふれあい実習園運営委員会（じっしゅうえんうんえいいいんかい）

～りんごが繋ぐ　物を作る・土に親しむ喜び～

りんごの収穫作業の様子

りんご集会でりんご音頭を演舞中

経　緯

○統合前の久多美小学校の管理に困っていた千㎡以上の土地の活用を保護者・地域の代表者と協議。
○久多美地区は、昔から農業が盛んだったが、全国的に評価を得ている柿以外の特産がないことや担い手の高齢化等の課題が顕在化。
○このため、その土地でりんごを栽培し、子供達に物を作る喜びや土に触れあう機会を与え、将来の久多美の農業の担い手に育って欲しいとの思いで設立し活動。

取組内容

○ふれあい実習園りんごの木120本植樹、りんご収穫
○りんごの収穫祭開催、りんご音頭を披露
《1年間の主な作業等の流れ》
4月 りんごの名札づくり
5月下旬 摘果作業（3年生以上で実施）
6月下旬 袋がけ作業
8月下旬 りんご「つがる」の収穫
10月～　りんご「ジョナゴールド」などの収穫
1月中旬～2月下旬　枝の剪定
3月 枝拾い・追肥作業

活動の効果

○りんごを収穫するまでの一連の活動を通して、収穫の喜びを味わうとともに、ふるさとのよさを体感している。
○様々な作業体験を通して、勤労生産の喜びや苦労を味わい、食料生産に対する意識の高揚を図っている。
○様々な活動を保護者や地域の人々といっしょに行い、ふれあいを深めることによって、「ひと・もの」への感謝の気持ちを持つようになった。

応募団体からのアピール・メッセージ

農業の盛んな土地に暮らす子供達が、今後もりんご栽培の様々な活動を保護者や地域の人々と一緒に行い、ふれあいを深め「ひと・もの」への感謝の気持ちを持ち続けられるように育てていきたい。

出雲市東福町453　Tel：0853-63-2614

6 島根県出雲市（いずも）

農林漁業　食育・教育

多伎小学校食農教育推進実行委員会（たきしょうがっこう　しょくのうきょういく　すいしんじっこういいんかい）

～多伎小の児童に多伎町の自然を満喫させたい～

田植え体験する小学生と地域住民

稲刈り体験　ハデ掛け終わったど～！

経　緯

○山、海、田畑が一面に広がる自然豊かな多伎町で、小学校の児童に稲作体験をさせ、お米を中心とした活動を通じ、「食」と「農」の大切さを学ばせたい。
○児童、保護者や地域住民とのふれあいの場や泥んこ遊びなど土とのふれあいにより、田んぼの魅力を味合せたい。

取組内容

○田植え体験、稲刈り・ハデ干し体験を小学校の児童・保護者とともに取り組んでいる。
○田植え体験前に、代掻き後の田んぼで泥んこ遊びでの土やカエルとのふれあい体験を行っている。
○収穫したお米を使って、小学校において実行委員会メンバーと交流しながら弁当やおにぎりづくりを行うなど、食と農のつながりを生かした取り組みを行っている。

活動の効果

○児童たちにとって初めての体験であり、良い思い出作りとなるとともに、食と農、地域農業の大切さが醸成されている。
○この取り組みを通じて、町内の様々な組織への波及効果があり、更には実行委員会の体制も活性化が図られている。

応募団体からのアピール・メッセージ

この取り組みを継続させ、地域の子供たちに農業体験を通して、「食」と「農」、地域の農業の大切さを次世代へ繋げていきたい。
広報活動にも力を入れ、多伎小学校の取組を町民に対し関心を高め、地域の活性化に繋げたい。

出雲市多伎町久村945－14　Tel：0853-86-2833

7 島根県出雲市（いずも）

環境保全・景観保全

教育機関との連携

鳶巣環境保全協議会（とびすかんきょうほぜんきょうぎかい）

未来へつなぐ　～しあわせあふれるまち鳶巣～

小学生とブルーベリージャムづくり体験

用排水路の修繕工事　地元構成員の直営施工

経　緯

○本地域も、過疎化、高齢化等により農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理が困難になってきた。

○このため、多面的機能支払交付金を活用し、地域資源の保全管理を図るため平成19年度に鳶巣環境保全協議会を設立。

取組内容

○鳶巣地域の農地・農業用水施設の老朽化対策。

○周辺の美化活動、桜並木の景観活動（桜まつり）、ホタルが舞い飛ぶ環境整備。ホタル活動には毎年200人以上の小学生が参加。

○遊休農地を活用したブルーベリー栽培、収穫、ジャムに加工など、近隣の小学校等と連携した幅広い農業体験を提供している。

○イノシシや鹿などの鳥獣害対策。

活動の効果

○本地域すべての川にホタルが増えることを願い、地域共同でホタルを守るために、町名をあげて河川の掃除や、子ども達とホタルの幼虫の餌になるカワニナを採取・放流するなど、ホタルの生息環境の保護にも努めている。その結果、毎年たくさんのホタルが飛び交うようになり、地区内外の人々を楽しませ笑顔にしている。

○農業者だけでなく、幅広い世代の方に活動へ参加してもらい、地域資源の保全管理に留まらず、地域への愛情を育められる地域一体型の協議会を目指して日々奮闘している。

応募団体からのアピール・メッセージ

今後もより多くの子ども達や親世代に本協議会の活動を体験してもらい、地域活動を通して次世代の農業への理解を深め、地域資源を維持管理していくことの大切さを伝えていきたい。

出雲市東林木町890-4　Tel：0853-21-0174

8 島根県出雲市（いずも）

ジビエ | 耕作放棄地対策 | 地域の活性化

みはた特産品研究会（とくさんひんけんきゅうかい）

～美味しく食べて、活かそう「いのしし」！～

元祖みはたいの骨らーめん

みはたいの骨らーめん春開店

経　緯

○中山間地域に位置する御幡（みはた）集落は、高齢化が進む中、有害鳥獣であるイノシシが出没し、田畑の作物被害も年々大きくなり、対策に多くの労力と経費が必要になってきた。また、イノシシを捕獲した場合、処分方法が課題であった。

○こうした中で「山間地域の厄介もの」を何とか地域資源として活かし、地域の活性化に繋げるため、集落の有志で「みはた特産品研究会」を立ち上げ、猪肉や骨などを使用した商品開発を開始した。

取組内容

○試作した猪肉を使用したカレー、コロッケ、串焼き、骨を煮込んだラーメンスープなどを何度も地元の方に試食してもらい試作を繰り返し、商品化。

○毎年、春と秋の２回、御幡（みはた）集落のなかよし会館を会場に、「いの骨（こつ）ラーメン」のPRイベントを開催。

○御幡（みはた）自治会で取り組む中山間地域集落協定の多面的機能共同活動事業の一貫として、耕作放棄地でのコロッケ用ジャガイモの栽培にも取り組んでいる。

活動の効果

○廃棄していた猪肉をジビエ料理の原料として販売し、有効活用するとともに、ジビエ料理への関心も高めることができた。

○春と秋に、「いの骨（こつ）ラーメン」イベントを開催し、御幡（みはた）地域へ多くの人に訪れてもらっている。その模様の取材等を通じ、地域の話題作りや活性化が図られた。

○イノシシコロッケの材料となるジャガイモ（キタアカリ）を集落の多くの農家で栽培してもらい、買い取ることで耕作放棄地の防止と生産意欲の向上を図ることができた。

応募団体からのアピール・メッセージ

イノシシと聞いただけで「臭い」と言われたが、イノシシ肉の処理、料理の工夫、イベントの企画・PRなど研究会会員の個々の能力を活かし、商品開発を続けてきたことで御幡地域で開発した商品の評価も高まり、皆が活動に自信を持ってきた。地域の活性化と「中山間地域の厄介者を活かす」逆転の発想で今後も活動を続けて行きたい。

出雲市佐田町大呂　Tel：0853-84-0753

9 島根県出雲市（いずも）

環境保全・景観保全　耕作放棄地対策　動物愛護

矢尾環境保全組合（やびかんきょうほぜんくみあい）

～矢尾の未来に向けた地域づくり～

ヤギ放牧場の整備

千年ハスを植えた池

経　緯

○平成19年度に「農地・水保全管理支払交付金」の導入を契機に組合を組織。交付金を活用した水路及び農道の補修を計画的に実施。
○農地環境の保全に加え、組合の新たな発展方向として、遊休地を活用したビオトープやヤギの放牧場を整備し癒し空間を設置。

取組内容

○約60年前に土地改良事業で整備された用水路を補修計画に基づいて補修を行った。
○未舗装の農道に生じる「わだち」の補修作業を実施。
○川の法面の草刈りを6月と7月に実施。
○国道沿いの休耕田に公園を設け、ビオトープとして2つの池を設置し、「千年ハス」を植栽。春に沢山の花を咲かせる。池の周囲には芝と国道沿いにはコスモスを移植し管理。また、ヤギを1頭飼育。

活動の効果

○用水路の補修は累計約800m以上となり、水稲の管理が改善された。
○導入した1頭のヤギの放牧地を整備し、除草に一役担っているとともに、地域の子供たちがヤギにふれあうことにより、「癒し」効果を発揮している。

応募団体からのアピール・メッセージ

公園は隣接休耕田を活用して花の植栽や花壇ボックスを設置していき、ヤギも増やしていきたい。組合員の高齢化が進むため、互助組織として休耕田の管理を受託するシステムを構築していく。

出雲市矢尾町576　Tel：0853-23-4754

10 島根県大田市（おおだ）

農林漁業　6次産業化　女性の活躍

中国四国農政局 ディスカバー農山漁村の宝 選定地区

有限会社旭養鶏舎（ゆうげんがいしゃ　あさひようけいしゃ）

～目指せ！えごま玉子で地域に活力を！～

「えごま玉子」

直売所　多数のアイテムが並ぶ店舗内

経　緯

○大田市の人口減少に伴い、卵の消費量も減少し、付加価値の高い卵の生産の必要性を感じた。
○島根県が産地化を進めるエゴマは健康に良いα－リノレン酸を多く含んでいるため、飼料として直接与えた鶏が産んだ「えごま玉子」の生産を思いついた。
○耕作放棄地を活用したエゴマ栽培を考え、地域活性化を図った。

取組内容

○えごま玉子の生産と、えごま玉子を原料とした加工品（25アイテム）を自社工場で製造。
○大学や病院と連携し、えごま玉子を食べることの効果について検証し、健康に良い効果が示された。
○ITとオートメーション化、6次産業化を積極的に進め、社員の半数近くは女性が働き、女性役員・管理職の登用も積極的に行う。
○当社退職者や周辺の高齢者に声掛けし、エゴマ栽培の促進を図った。

活動の効果

○加工品全てのフレッシュさと無添加をコンセプトに掲げており、鶏舎横の直売所には、毎日多くの消費者が来店する。
○男性職員のみであった営業配送業務に女性職員を配属したところ、消費者に対する気配りにより、新規顧客獲得に繋がった。
○エゴマを生産する近隣農家とともに生産組合を立ち上げ、エゴマ生産による収入をもたらしている。

応募団体からのアピール・メッセージ

「えごま玉子」での健康増進と6次産業化や女性の働き、女性役員・管理職の登用など積極的に取り組み、さらなる地域の活性を目指します。

有限会社旭養鶏舎　Tel：0854-85-8421